

# 東小だより

第23号  
桐生市立東小学校  
令和4年1月21日  
(文責 鈴木 智行)


やさしく かしこく たくましい 東っ子

## 第2回学校評価アンケート ～よりよい学校づくりに向けて～

第1回の学校評価アンケート結果を踏まえ、2学期の教育活動等の充実・改善に向けて取組を行ってきました。その状況を検証するために、2学期末、保護者の皆様に第2回アンケートをお願いしたところです。今回の結果については3学期及び次年度の取組に反映させていきたいと考えています。引き続き、本校の教育活動にご理解・ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

※肯定的回答：「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計  
「↑」「↓」：前回結果と比較して5ポイント以上の差を示しています。

具体的数値目標	肯定的回答の割合 (%)	考察・今後の取組等
①「授業中、自分で考えたり友達に考えを伝えたりする場面がある」と回答する児童が80%以上である。	78.6	(前回83.4%) 自分の思いや考えを伝え合ったり、協力して問題解決したりする場面を意図的につくっていきます。
②「子どもは『学校の授業は分かりやすい』と言っている」と回答する保護者が80%以上である。	77.2 ↓	児童の肯定的回答は87.8%でした。今後も個別の支援や補充指導を充実させていきます。宿題の確認や家庭学習の習慣化に向けてご協力をお願いします。
③「学校でパソコンやタブレットを使って勉強をしている」と回答する児童が80%以上である。	94.5 ↑	低学年においてもタブレットを用いた学習を始めました。文房具のように使い、学びを深めることを目標としています。
④「家で自分から進んで勉強や読書をしている」と回答する児童が80%以上である。	76.8	読書週間やスタディウィーク等の取組により習慣化を目指しました。3学期もより一層の取組を推進していきます。
⑤「子どもはあいさつや規則正しい生活をしている」と回答する保護者が80%以上である。	79.1	(前回83.0%) 児童が自身の生活を振り返ることができる機会を設け、よりよい生活習慣の定着を図っていきます。ご家庭においても声かけ等をお願いします。
⑥「いやなことをされたり言われたりしたとき、先生は助けてくれる」と回答する児童が80%以上である。	82.3	毎月、生活アンケートを実施し、児童の悩みや不安については、全教職員で情報共有を図りながら対応しています。
⑦「友達のよいところや違いを認め合って生活している」と回答する児童が80%以上である。	89.6 ↑	2学期、様々な行事や教育活動を通して、クラスの団結を高めたり、友達の新たな一面に気付いたりすることができました。
⑧「きまりや約束を守って生活している」と回答する児童が80%以上である。	89.7	全ての児童がきまりや約束を守れるよう、日々のかかわりの中で規範意識を高められるようにしていきます。
⑨「学校は、子どもたちの不安や悩みに、担任以外の先生もかかわって対応していると思う」と回答する保護者が80%以上である。	70.9	2学期に実施したSOSの出し方教育や人権教育において、悩みや不安があるときには担任以外でも養護教諭、スクールカウンセラー、教育相談員、支援員、介助員等、誰にでも相談してよいことを伝えました。

具体的数値目標	肯定的回答の割合 (%)	考察・今後の取組等
⑩「夢や希望に向かって勉強や運動に取り組んでいる」と回答する児童が80%以上である。	87.2	機会あるごとに、日々の積み重ねの大切さや目標に向かって頑張ることの意義について児童に伝えています。
⑪「親子で子どもの将来の夢や希望について話し合う機会がある」と回答する保護者が80%以上である。	84.1	⑩の肯定的な回答からも、家庭で夢や希望について話し合っている様子がうかがえます。引き続きよろしく願います。
⑫「外で元気に遊び、体育の時間にしっかり運動している」と回答する児童が80%以上である。	87.8	2学期は持久走練習を頑張りました。3学期は縄跳び運動を中心に取り組み、筋力や持久力、リズム感等を高めていきます。
⑬「手洗いやうがいなどをし、ハンカチやティッシュを身に付けて生活している」と回答する児童が80%以上である。	92.1	ハンカチやティッシュをもっているかどうか、各学級で定期的に清潔検査を行っています。
⑭「地震や火災が起こった時、避難の仕方が分かる」と回答する児童が80%以上である。	96.9	2学期は予告なしの避難訓練を実施しました。ほぼ全ての児童が適切に避難行動を取ることができました。
⑮「交通ルールを守り、安全に気を付けて登下校をしている」と回答する児童が80%以上である。	95.8	休日や長期休業中においても、徒歩や自転車で移動する際には交通安全に気を付けるよう声かけをお願いします。
⑯「学校だよりや学級通信、連絡帳を通して、学校や子どもたちの様子が伝わっている」と回答する保護者が80%以上である。	86.1	今後も通信等により、児童の活動への取組状況を伝えるとともに、学校HPでもお知らせできるよう検討していきます。
⑰「授業参観等、学校・学年の行事に参加している」と回答する保護者が80%以上である。	89.9	ご多用のところありがとうございます。より多くの保護者に参加していただけるよう、時期や内容、実施方法等について適宜、見直していきます。
⑱「悩みごとや困っていることがある場合、学校に相談しやすい」と回答する保護者が80%以上である。	84.2	担任だけではなく管理職やカウンセラーがいつでも相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。
⑲「学校は、保護者や地域の方の協力を得て教育活動の効果を高めていると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	82.3	アウトメディアやスタディウィークの取組では、ご家庭での励ましや言葉かけによって意義ある活動になりました。
⑳「桐生が好き」と回答する児童が90%以上である。	95.1	生活科や総合的な学習の時間、旅行的行事等において、桐生の自然や歴史、伝統文化などに触れる機会をつくっています。
㉑「ICTに関する環境整備に努めていると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	86.7 	各学年で授業中、タブレットPCを用いる機会を増やしてきました。今後、より効果的な活用について検討していきます。
㉒「施設の管理や安全対策は十分であると感じる」と回答する保護者が80%以上である。	82.3	教職員による教室内や備品等の安全点検、業者による施設設備の点検を定期的に行っています。

## ◎自由記述

自由記述欄に記載されたご意見・ご質問等のうち、学校としての対応や考え方を示す必要があるものについて回答させていただきます。なお、紙面の都合上、ご意見等の要旨をまとめさせていただきました。

### ----- <生徒指導・教育相談> -----

- ・ 支援員さんや相談員さんがいても、目が行き届いていない時があるような気がします。子供の話を聞いてくれる人をもっと長い時間おいたほうがいいと思います。
- ・ 小さいことが大きなことにならないように何か様子がおかしい時には知らせていただけるとありがたいです。

児童の様子については、担任だけではなく、支援員・相談員も含めて情報共有を図るとともに、定期的な会議で個々の児童について対応を検討するなどして、全教職員で見守っています。相談員とじっくり話したいときには、ほっとルーム前のポストに相談の予約を申し込むことができます。また、引き続き、児童が誰にでも相談しやすい雰囲気を作っていきたいと考えています。

学校で元気がない、友達とトラブルがあった、学習に集中できない等の問題が見られた場合には、担任からご家庭に連絡させていただき、協力して問題の解決につなげていきます。また、家庭での児童の様子で気になることや子育てに関する困りごと等がある場合には、些細なことでも構いませんので、学校にご連絡いただくとありがたいです。内容によって担任、管理職、養護教諭、相談員等がお話を伺います。

### ----- <健康・学校安全> -----

- ・ (感染症対策として) 特に冬場は冷たい水しか出ない水道で、どれほどしっかりと手洗いができているのか心配です。お湯が使えるればよいのにとおもいます。
- ・ (新型コロナ、胃腸炎、インフルエンザ等に関して) 家庭によっては免疫が低下しているご家族もいると思うので、学年が異なっても学校で起きている状況についてはメールで即、情報提供をお願いします。
- ・ (校内における不審者対応に関して) 誰でも自由に出入りできる学校の現状について、そのメリットデメリットを子供の命と天秤にかけてよく考えてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校における感染症対策をより一層、警戒感をもって行うことが必要です。ご指摘のとおり、冷たい水で手洗いをしなければならぬ状況ではありますが、三密の回避、健康観察、マスクの着用などの基本的な対策を含め、改めて児童に声をかけ、徹底していきたくと考えています。また、季節柄、新型コロナウイルス感染症以外についても流行が心配されます。学校における流行の状況等について、必要な情報については適宜、ご家庭にご連絡したいと考えています。

児童の安全確保は最優先事項と考えており、そのため学校では、登下校時以外の閉門、

防犯カメラの設置、玄関での来校者の受付、1階廊下にインターフォンの設置等、可能な限りの対策を行っています。また、不審者侵入時の対応について全教職員で共通理解を図るとともに、訓練を実施して万が一に備えています。児童に対しては、校内だけではなく登下校時なども含めて「不審な人物に近づかない」「声をかけられたら離れる・逃げる」等の指導を行っています。引き続き、安全確保に向けて施設設備の充実に努めるとともに、緊急時における対応について教職員・児童の意識を高めていきます。

--- <ICTの活用> -----

- ・タブレットを使用した新たな試みの宿題（ダンス練習、音読やリコーダーの録音、じゃがいもの皮むきの動画撮影など）は学習の幅が広がり、よい取組だと思えます。
- ・1学期末のウェブでの学校だよりは、見やすく、また、紙もむだにならずよかったです。配布物の多さが気になりますので、週の予定以外はウェブ配信でもよいと思えます。

タブレットPCを用いた宿題については、家庭学習の充実に向けて、また、感染症等による学校閉鎖への備えとして試行的に実施しているところです。現時点では課題も多くありますが、よりよい実施方法について検討を進めていきます。

社会においてペーパーレス化が進められている中、学校においても検討の必要があると感じています。お便り等の配付方法については紙媒体・メール配信それぞれの長所・短所等を踏まえ、保護者の方のご意見等もいただきながら、より利便性の高い方法を探っていきます。

--- <その他> -----

- ・授業参観の日を兄弟で重ならないようにしていただけるとありがたいです。
- ・来年度は2クラスの学級編制を希望します。

授業参観については、今年度は学期ごとに学年の分け方を変えて実施しました。来年度も年3回の授業参観の日程を、学期ごとに学年の組み合わせを変えて実施していきたいと考えています。

学級編制については児童数に応じてクラス数が決定するため対応は難しいと考えます。児童が落ち着いて生活したり学習したりできるよう、引き続き複数の教職員で対応できる体制を整えていきます。